

令和4年度  
事業報告書

(自) 平成4年4月1日

(至) 令和5年3月31日

社会福祉法人 道真会

## 事業展開

### I.実施事業

- ① 第1種社会福祉事業
  - 特別養護老人ホーム（広域型・地域密着型小規模）
  - 軽費老人ホーム（ケアハウス）
- ② 第2種社会福祉事業
  - a. 認知症対応型老人共同生活援助事業
  - b. 老人短期入所事業
  - c. 老人デイサービス事業
  - d. 老人居宅介護等事業
  - e. 障害福祉サービス事業
- ③ 公益を目的とする事業
  - 居宅介護支援事業
  - 地域包括支援センター
- ④ 収益を目的とする事業
  - 太陽光発電事業

### II.令和4年度の理事会・評議員会の開催状況

#### 1 理事会

(1) 定数 : 8名(理事6名 監事:2名)

現任期 : 令和3年6月16日~令和5年度最初に招集される定時評議員会の終結の時まで

(2) 現員 : 8名(理事長:1名 理事5名 監事:2名)

開催回	開催年月日	決議参加人数 /定数	主な議事内容
第1回	令和4年4月13日	6/6	「第8期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づく施設整備に伴うグループホーム18床の整備候補内定について・令和4年度補正予算・グループホーム改築工事にかかる設計・監理・その他付随業務の契約について
第2回	令和4年6月7日	6/6	令和3年度事業報告について・計算書類の承認について・監事監査報告につ

			いて・グループホーム改築工事にかかる日影規制不適格解消のための隣地の購入について・「小規模多機能ハピネス双葉」と「認知症デイハピネス双葉」の事業廃止について・定時評議員会について
第3回	令和4年6月23日	6/6	(仮称)グループホーム島川改修工事に伴う競争入札参加資格について
第4回	令和4年7月7日	6/6	(仮称)グループホーム島川改修工事に伴う一般競争入札参加業者の承認
第5回	令和4年7月20日	6/6	(仮称)グループホーム島川改修工事一般競争入札の結果及び工事請負契約について
第6回	令和4年8月9日	6/6	長期運営資金の借入について・令和4年度第2次補正予算について
第7回	令和4年9月7日	6/6	定款の変更について・評議員会について
第8回	令和4年11月28日	6/6	新規グループホーム開設にかかる備品等購入及び幸富久荘特養のベッド購入について・給食業務委託事業プロポーザルについて・諸規程の変更・評議員会について
第9回	令和4年12月27日	6/6	評議員の推薦候補者について・評議員選任解任委員会の開催について・給食業務委託公募型プロポーザルの結果について
第10回	令和5年2月2日	6/6	定款の変更について・松山市地域包括支援センター味酒・清水のパソコン・サーバーのリース契約について・評議員会について
第11回	令和5年3月16日	6/6	令和4年度補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度収支予算・指導監査の結果について・諸規程の改正・廃止事業に係る財産の処分方法等について・役員賠償保険の加入について・評議員会について

## 2 評議員会

- (1) 定数 : 7名
- (2) 現任期 : 令和3年6月16日～令和7年定時評議員会の終結の時
- (3) 現員 : 7名

開催回	開催年月日	決議参加 人数 /定数	主な議事内容
第1回	令和4年6月14日	7/7	令和3年度事業報告について・計算書類の承認について・監事監査報告について・グループホーム改築工事にかかる日影規制不適格解消のための隣地の購入について・「小規模多機能ハピネス双葉」と「認知症デイハピネス双葉」の事業廃止について
第2回	令和4年9月16日	7/7	定款変更について・令和4年度補正予算について
第3回	令和5年2月10日	7/7	定款変更について・松山市地域包括支援センター味酒・清水のパソコン・サーバーのリース契約について・新規グループホーム開設にかかる備品等購入及び幸富久荘特養のベッド購入について・給食業務委託事業プロポーザルについて・諸規程の変更
第4回	令和5年3月24日	7/7	令和4年度補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度収支予算・廃止事業に係る財産の処分方法等について

### Ⅲ.法人事業活動状況

#### ① 運営状況について

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の蔓延から、当初予定していた研修や、行事などの変更または中止を余儀なくされ、法人運営においても多大なる影響がある1年となりました。在宅サービス部門においては、新型コロナウイルス感染防止

による外出抑制から、引き続き収入が伸び悩みました。次年度も大きく改善が見通せる状況は見当たらず、更に物価の上昇の影響もあるため、今以上に経営の効率化を図っていく必要が生じております。

② 第8期松山市高齢者福祉計画・松山市介護保険事業計画への対応

「島川ステイ」（ショートステイ廃止・土居田町）の活用について、従前より当法人の課題となっていたことから、第8期松山市高齢者福祉計画・松山市介護保険事業計画に基づく認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）の公募へ参加いたしました。整備計画書の提出、事業者ヒアリングを経まして、令和4年2月28日付にて松山市より整備候補として内定をいただきました。このことから令和4年度につきましては、新規グループホームの開設を法人本部の主要な業務と位置づけ、令和5年2月1日の運営開始に向けて取り組んで参りました（当初の計画どおり令和5年2月1日に開設）。

③ 施設関連

大規模修繕（外壁修繕、防水工事、内部改修、浴室改修等）を平成30年度に行いましたが、近年も複数施設において経年による建物・設備等の不調が見受けられるようになりました。上記新規グループホームの開設にかかる改修費等の経費には自己資金を充当したため、流動資産が減少しております。高額な費用を要する修繕や将来の建替え費用を念頭に置き、毎年収支差額を確保の上、継続的な自己資金の積み増しが必要な状況となっております。

④ 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年1月に国内で初めて確認された新型コロナウイルスの感染拡大は、令和4年度を通じても流行の波を繰り返しながら収束することがなく、当法人の活動も前年度に引き続きコロナ禍の様々な影響を受ける一年となりました。

利用者や職員においても頻繁に感染者、濃厚接触者が発生し、利用控えや職員の勤務体制にも影響が出ています。結果、大半の在宅サービス事業所において利用者数が減少しており、この先の法人経営も予断を許さない状況となっております。

## IV.社会福祉事業

### 幸富久荘

#### 1. 特別養護老人ホーム：定員 59 名

人員基準は満たしていますが、派遣職員の割合が多く、夜勤を行える職員が少ないことから急な勤務変更等の対応が難しくなっています。稼働率は、7～8月と1月の2度の新型コロナウイルス感染症クラスターの影響もあり去年と同程度です。感染症対策時でも影響を受けず、稼働率を安定させることができる体制を整えていきたいと思ひます。

平均入所者数は 57.6 名で、昨年度と同じです。2 度の新型コロナウイルス感染症クラスター時に、入所者数が大幅に減少し、またクラスター対応期間中は新規入所の受入れが出来ないことから稼働率が極端に低下しました。主な退所理由は、新型コロナウイルス感染症による医療機関への長期入院とご逝去です。数名、別施設に移動された方もいます。

年 度	1日あたりの 平均利用者数	新規 入所者	逝去者	4月時点の職員数		
				介護 (常勤)	介護 (非常勤)	看護師
令和2年度	58.8人	11人	10人	22人	5人	5人
令和3年度	57.6人	15人	18人	26人	5人	5人
令和4年度	57.6人	36人	17人	26人	5人	5人

#### 2. 短期入所生活介護(ショートステイ) (定員 11 名)

人員基準は満たしていますが、派遣職員の割合が多く、夜勤を行える職員が少ないことから急な勤務変更等の対応が難しくなっています。稼働率は、7～8月と1月の2度の新型コロナウイルス感染症クラスターの影響もあり去年度より低下しています。感染症対策時でも影響を受けず、稼働率を安定させることができる体制を整えていきたいと思ひます。

令和4年度末時点における稼働率は、去年度より上昇しています。年度内は、新型コロナウイルス感染症クラスター等の影響で受入れができない時期もあり、一時的に稼働率が下がりましたが、以降は増加に転じています。ロングショートを増やし、併設特養と入所を調整しながら、稼働率が安定するよう努めていきたいと思ひます。

年 度	利用者 延べ人数	1日あたりの 平均利用者数	稼働率	新規 利用者	居宅介護支援事業所	
					幸富久荘	他事業所
令和2年度	2,918人	8人	72%	11名	6名	5名
令和3年度	3,090人	8.3人	75%	15名	9名	6名
令和4年度	2,638人	7.3人	66%	13名	8名	5名

### 3. 通所介護(デイサービス)：定員 35 名(内、生きがいデイサービス 5 名)

令和 4 年度の延べ利用者数は、5,483 人です。稼働率は、利用者様、利用者家族様の新型コロナウイルス感染症に伴う自宅待機、利用回数の多い利用者様の入院や施設入所等が重なり、年間を通して 50%前後を推移しています。しかし、新規利用者 28 名の獲得、令和 5 年 5 月からの新型コロナウイルス感染症の規制緩和方針を受け、年度末頃より居宅介護支援事業所等からの紹介件数・新規利用開始件数が増加していることから、次年度の稼働率は改善する見込みです。新規利用者の獲得は、居宅介護事業所との連携・情報共有を密に行い、事業所の特色やサービス内容を広く周知できたことに起因するものと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策は、職員・利用者の 1 日 3 回の検温や換気等を徹底したことでクラスターを未然に防ぐことができました。

年 度	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率
令和 2 年度	6,606 人	21.3 名	60.8%
令和 3 年度	6,769 人	21.8 名	62.2%
令和 4 年度	5,483 人	17.6 名	50.2%

### 4. 生きがいデイサービス

松山市内に在住されている概ね 65 歳以上の高齢者の方で、介護保険法に規定する通所介護を利用できない方が施設に通所し、健康チェックや各種サービスを受けることにより健康と生きがいを持続することを目的とする社会福祉事業の一環であるデイサービスです。

サービス内容は基本事業（趣味・創作活動）、送迎、入浴、給食となっております。収入は、利用者 1 日 3,500 円（本人負担 1,000 円、松山市より 2,500 円）です。社会福祉法人として地域社会に貢献することが目的の為、収益は見込めません。令和 4 年度における年間利用者数は 43 名でした。

### 5. 訪問介護

新型コロナウイルス感染症も影響し、訪問介護サービスの休止や包括支援センターからの新規相談も減少しています。新規利用者数は 30 件と前年度より伸びていますが、入院や施設入所者が増えサービスの継続に繋がっていません。登録ヘルパーの高齢化に伴い仕事量の減少は避けられない状態となっています。

登録ヘルパー平均年齢 61.47 歳(内、65 歳以上 7 名)

要介護者延べサービス提供数

(単位：回)

年 度	身体介護	身体と生活支援	生活	合計
令和 2 年度	1,834	3,872	6,449	12,155
令和 3 年度	2,026	3,017	6,475	11,518
令和 4 年度	2,246	2,031	5,446	9,723

要支援者延べサービス提供数

(単位:回)

年 度	要支援 1	要支援 2	合計
令和 2 年度	2,846	2,736	5,582
令和 3 年度	2,292	2,779	5,088
令和 4 年度	2,025	2,006	4,031

障がいサービスは、前年度と変わりなく 3 件のサービス継続です。内、1 件困難事例対応となっています。各事業所と連絡を密にとり対応していきます。

障がい者支援提供数

(単位:回)

年 度	派遣回数
令和 2 年度	226
令和 3 年度	290
令和 4 年度	359

令和 5 年 5 月より常勤ヘルパー 1 名増員の予定です。今後ヘルパー活動、センターの運営体制を整えていきます。引き続き感染対策を講じ、ヘルパーセンターの経験豊かな力で、質の高いサービスを提供できるよう努めます。

6. 居宅介護支援事業所

居宅介護支援におきましては、法令を遵守し、基準に則した運営を行っております。

令和 4 年度の年間総計画数は 2,525 件となり、要支援・要介護ともに令和 3 年度より減少しております。要因といたしましては、昨年末に職員 1 名の退職及び令和 5 年度に 2 名の定年退職予定者が控えていることにより、継続的な支援を行う見通しが立たず、新規利用者の積極的な受け入れができなかったこと、前年度から引き続いている新型コロナウイルス感染症禍における制限により、包括支援センターからの新規紹介数が減少していることが考えられます。

令和 5 年度に向けて人員の確保はできており、積極的に新規受け入れを行い、安定した運営を目指します。また、引き続き感染予防対策を講じながら、必要なサービスが継続して提供できるよう法令を遵守しつつ、質の高いケアマネジメントの提供に努めます。

要介護

(単位:件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
211	212	221	220	214	212	209	216	214	206	197	193

年 度	年間総計画数	月平均
令和 3 年度	2,714	226
令和 4 年度	2,525	210



要支援受託

(単位:件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
74	76	74	74	74	74	73	70	69	67	65	60

年 度	年間総計画数	月平均
令和3年度	920	77
令和4年度	850	71

(単位:人)

	ケアマネ人数
令和3年度	8.5
令和4年度	8.2

(単位:件)

年 度	年間総利用者人数	月平均	ケアマネ1人当り
令和3年度	3,634	303	35.6
令和4年度	3,375	281	34.3

7. ケアハウス:定員30名

令和4年度末における入居者は24名(平均年齢84.21歳)です。ケアハウスとしての役割を考えながら、入居者様のストレス軽減や健康的に過ごせるような支援に努めると共に、ご家族様に御理解ご協力を頂き、サービス及び運営の質の向上に努めることができたと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策として、職員による清掃の徹底・年間行事の自粛、入居者様への外出制限・施設内の移動制限・建物外部の介護事業所等の利用自粛、家族様とのガラス越しの面会等を実施しておりましたが、7月そして1月に合計4名の入居者様が新型コロナウイルス感染症に罹患されました。4名ともケアハウス内での施設内療養となりましたが、皆様重度化されることなく回復されています。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2~5	障害福祉	合計
6名	7名	6名	4名	0名	1名	24名

## ハピネス双葉グループ

### 1. 地域密着型特別養護老人ホーム（ユニット型個室）：定員 25 名

令和 4 年度も例年同様の高い稼働率で推移しました。利用者様の入退院やご逝去等による空床発生時は、適宜入所判定委員会を開催し円滑な待機者の受入れを行いました。予定していた新規加算を取得することができ、安定的な収入確保に繋がりました。新型コロナウイルス感染症第 8 波の際は職員数名と利用者様 1 名が感染し人員体制に苦慮しましたが、最小限の影響に止めることができました。感染対策を行うにあたり、職員の日々の取り組みや利用者ご家族様のご協力に感謝いたします。

人員に関する加算は、要件をクリアするため松山市介護保険課指導のもと従来の人員カウント方法から変更を行い対応しています。収入に直結することから、月々の人員管理に留意していきます。

年 度	年間総利用者数	1 日平均	稼働率
令和 2 年度	9,088 人	24.8 人	99.5%
令和 3 年度	9,078 人	24.8 人	99.4%
令和 4 年度	9,093 人	24.9 人	99.6%

### 2. ショートステイ（ユニット型個室）：定員 10 名

数年にわたる稼働率低下の原因分析により判明した以下 4 つの問題点について、分析を行い根本的な事業所運営の在り方について見直しを行いました。

- ①利用者・ケアマネジャーのニーズ（緊急受入・短期利用）に応える体制が整っていない。
- ②限られた居宅介護支援事業所との関わりになっている。
- ③特養の併設事業でありながら、待機利用者の確保ができていない。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用控え傾向が続いていた。

令和 4 年度は①②③の問題点について同時進行で解消を図り、人的資源の活用に取り組みました。12 月より新規利用者の獲得が増え、緩やかに稼働率の上昇に繋がっています。特養への待機者数も一定数確保できおり、令和 5 年度に向けこの方針を継続していきます。

年 度	年間総利用者数	1 日平均	稼働率
令和 2 年度	2,780 人	7.6 人	76.1%
令和 3 年度	2,359 人	6.4 人	64.6%
令和 4 年度	2,003 人	5.4 人	54.8%

3. 認知症対応型デイサービス：定員 12 名

数年にわたり運営状況の改善に努めましたが、事業継続困難であることから令和 4 年 9 月 31 日をもって事業所の廃止に至りました。

年 度	年間総入所者数	1 日平均	稼働率
令和 2 年度	1,332 人	4.2 人	35.6%
令和 3 年度	1,301 人	4.1 人	34.7%
令和 4 年度	435 人	3.7 人	30.9%

※令和 4 年度実績（令和 4 年 4 月から同 8 月）

4. 小規模多機能型居宅介護：登録定員 25 名

数年にわたり運営状況の改善に努めましたが、事業継続困難であることから令和 4 年 9 月 31 日をもって事業所の廃止に至りました。

年 度	年間総利用者数	1 日平均	稼働率
令和 2 年度	4,091 人	11.2 人	44.8%
令和 3 年度	2,925 人	8.0 人	32.0%
令和 4 年度	435 人	4.6 人	18.7%

※令和 4 年度実績（令和 4 年 4 月から同 8 月）

5. グループホームせと家：定員 18 名

予定通り人員確保した上で、内部研修等の事前準備を行い、令和 5 年 2 月 1 日に開設しました。法令を遵守し適正な運営に努めつつ、安定的な収入を得るべく早期(令和 5 年 7 月末目標)の満床を目指します。

年 度	年間総利用者数	1 日平均	稼働率
令和 4 年度	214 人	3.6 人	20.2%

※令和 4 年度実績（令和 5 年 2 月から同 3 月）

## ハピネスさや家グループ

### 1. 地域密着型介護老人福祉施設ハピネスさや家：定員 29 名

新規入所者の確保が後手後手にまわり、1月以降の稼働率が93%と大きく減少し、年間平均97.4%(前年度比-1.6%)となりました。しかしながら、令和4年1月以降算定を開始した加算の影響もあり、収入面は前年度と比べ増収となりました。人員は、7月に介護リーダーの交代があり、業務内容(役割)全般の見直しを要しました。介護リーダーは、現場における重要なポジションですので年間を通してリーダーとしてのあり方を見出してもらいました。11月に松山市による一般監査がありましたが、事業運営に関して大きな指摘はありませんでした。新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策は、感染状況を加味しながら対策を続けた結果、年間を通して入所者に感染者を出すことはありませんでした。

年 度	年間総利用者数	1日平均	稼働率
令和2年度	10,161人	27.8人	96.1%
令和3年度	10,468人	28.7人	99.0%
令和4年度	10,310人	28.2人	97.4%

### 2. グループホームさわや家：定員 18 名

開設から5年が経過し、開設当初から入居している方の心身の重度化が進み、併設の特養や他施設に転居される利用者も増えています。1月までは平均稼働率99.2%と高水準を維持してきましたが、2月以降は利用者の急逝もあり空床が生じています。稼働率は前年度比1.2%と回復しており、収入も微増となっています。令和4年度における退職者は、0名と人材が定着しています。

年 度	年間総利用者数	1日平均	稼働率
令和2年度	6,407人	17.6人	97.6%
令和3年度	6,399人	17.5人	97.5%
令和4年度	6,483人	17.8人	98.7%

### 3. グループホームはぶやま：定員 18 名

入所3名、退所3名と利用者の動きが比較的少ない年度でした。8月に新型コロナウイルス感染症の事業所内クラスターが生じましたが、重症者を出すことなく終結を迎えることができました。2月に松山市による運営指導を受けましたが、事業運営に関して大きな指摘はございませんでした。稼働率は年間平均96.8%と前年度から横ばいですが、一昨年度と比べると利用者の長期入院が少なかった影響もあり、稼働率・収入共に微増となっています。職員は、4月の退職者1名のみで落ち着いております。

年 度	年間総入所者数	1日平均	稼働率
令和2年度	6,326人	17.3人	96.2%
令和3年度	6,417人	17.6人	97.7%
令和4年度	6,359人	17.4人	96.8%

#### 4. 短期入所生活介護事業所吉田ステイ：定員33名

収入改善に向けた取組みを続けていますが、稼働率は上期36.7%、下期34.9%、年間平均35.7%と令和2～3年度と比べても横ばい状態で、事業所単独での運営が難しい状況が続いています。今年度から新たな加算を算定する準備が整いましたが、抜本的な改善をするには人員配置の見直しを要します。

年 度	年間総利用者数	1日平均	稼働率
令和2年度	4,265人	11.7人	35.4%
令和3年度	4,258人	11.7人	35.3%
令和4年度	4,296人	11.8人	35.7%

## 地域包括支援センター味酒・清水

今期（令和4年度～6年度）も、前期（令和元年度～3年度）に引き続き松山市より地域包括支援センター味酒・清水の運營業務を受託しました。令和4年度は、今期における初年度として気持ちを新たに、公平・公正な視点に立ち適切な業務に取り組みました。

### 1. 包括的支援事業

With コロナにおける事業活動計画を策定し、三職種（主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士）が連携して地域活動を行いました。スーパーでの出張相談は感染症拡大防止のため自粛しましたが、感染予防策を徹底した上で地域住民や介護サービス事業所等と地域課題の共有、解決に向けた会議や啓発活動を行いました。主業務である総合相談支援業務は、圏域内の高齢者やその家族からの相談に対し、窓口対応だけでなく電話や自宅訪問を実施するなど迅速且つ丁寧な相談対応に取り組みました。

〈総合相談支援件数〉

（単位：件）

年度	新規	継続	計
令和2年度	527	2,180	2,707
令和3年度	507	1,669	2,176
令和4年度	472	1,615	2,087

#### 【主任介護支援専門員】

圏域の居宅介護支援事業所を対象に、研修会並びに事例検討会等を開催しました。開催形式は、新型コロナウイルス感染症の感染動向を鑑み対面開催とオンライン開催を使い分けましたが、互いの顔が見え今後の関係性が構築できるよう注力しました。

#### 【保健師】

地域住民を対象に、介護予防教室・家族介護教室を開催しました。開催実績を有する公民館だけでなく、住民が集まりやすい地域集会等で開催することにより広く地域住民への周知に取り組みました。チラシ等を配布することで、フレイル（虚弱）予防の啓発活動も実施しました。

#### 【社会福祉士】

「困難・虐待ケース」の解決に向け、行政や関係機関と連携し支援ケース会議を開催しました。併せて、法定後見制度へのつなぎ支援を行いました。アウトリーチ（地域への出張活動）では地域住民を対象に消費者被害防止の周知啓発、福祉講座を開催しました。

〈活動実績〉

(単位：回)

部 門	活 動 内 容	開催数
主任介護 支援専門員	研修会・事例検討会・連絡会	4
保健師	健康教室（介護予防教室・家族介護教室）	16
社会福祉士	虐待・困難ケース支援会議、サービス事業所向け研修会 消費者被害防止講座、その他福祉講座	13

## 2. 介護予防支援事業

5～9月にかけて介護支援専門員1名の欠員が生じ直営でのプラン件数は昨年と比べ減少しましたが、人件費が減少したことを受け年間では119,984円の収益を上げることができました。

〈介護予防給付管理数〉

(単位：件)

年 度	センター直営		外部委託		計	
	プラン数	うち新規	プラン数	うち新規	プラン数	うち新規
令和2年度	4,674	161	4,535	114	9,209	275
令和3年度	5,197	119	4,183	97	9,380	216
令和4年度	4,548	92	4,637	148	9,185	240

〈実質収入額〉

(単位：円)

	プラン作成料収入	外部委託料支払額	差引実質収入額
令和2年度	40,515,790	17,518,000	22,997,790
令和3年度	41,854,490	16,628,500	25,225,990
令和4年度	41,178,300	18,684,800	22,493,500

〈事業収支〉

(単位：円)

	事業費 (うち人件費)	プラン作成料	その他収入	差引損益
令和2年度	41,414,971 (20,834,649)	40,515,790	289,446	▲609,735
令和3年度	40,867,170 (21,226,667)	41,854,490	281,628	1,268,948
令和4年度	41,378,192 (19,881,713)	41,178,300	319,876	119,984